

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	排水対策推進費	事業開始年度	平成10年度以前	作成責任者		
担当部局庁	水・大気環境局	担当課室	水環境課	水環境課長 森北 佳昭		
会計区分	一般会計	上位政策	大気・水・土壌環境等の保全			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水質汚濁防止法第2条、第3条、第15条	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	工場及び事業場から公共用水域に排出される水の排出を適切に規制するために必要な調査・検討を行い、人の健康の保護や生活環境を保全することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①事業者や地方自治体を対象とした、工場及び事業場からの排水濃度等の排出実態や法の施行状況の調査。 ②公共用水域における水質環境基準の達成状況及び超過地点数を把握し、国民、行政機関に対する情報の提供。 ③規制となっていない項目や事業場について、規制の必要性を検討するための排出実態等の調査。 ④排水処理技術の開発・普及に向けた技術的検討等の取組の推進。					
実施状況	○水質汚濁物質排出量等総合調査;水質汚濁物質排出量総合調査(調査対象:36,361件)、水質汚濁防止法等の施行状況調査(調査対象:276,952件) ○公共用水域水質測定結果の取りまとめ(生活環境項目:7,094地点、健康項目:5,460地点) ○水質汚濁物質等排出規制検討調査;未規制物質排出等の実態調査(1,4-ジオキサン)の採水・分析(27事業場)、排水処理技術等の実態を調査 ○暫定基準に係る排水処理技術開発の促進事業;温泉排水処理技術の実証試験の実施(調査技術:ほう素除去技術(2種類)、ふっ素除去技術(1種類))し、その結果を踏まえほう素等の暫定排水基準の見直しに向けた技術的検討を実施					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	101	96	73	70	
	執行額	69	78	59		
	執行率	68.3%	81.3%	80.8%		
	総事業費(執行ベース)	69	78	59		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	○平成21年度水質汚濁物質排出量総合調査を実施し、その結果を平成22年3月19日に公表。 ○平成20年度水質汚濁防止法等の施行状況調査を実施し、その結果を平成21年11月30日に公表。 ○平成20年度公共用水域水質測定結果を取りまとめ、その結果を平成21年11月27日に公表。 ○未規制物質(1,4-ジオキサン)の調査結果については、排水規制等専門委員会へ資料として提示し審議の基礎資料として活用。 ○ほう素、ふっ素の除去技術の実証試験の実施にあたっては、排水処理の専門家による現地視察を実施し、試験結果を適確に評価するとともに、その結果を平成22年7月以降の温泉排水に対する暫定排水基準の見直しの基礎資料として活用。 ○担当職員が事業の進捗や実施方法等について請負事業者と綿密に調整しながら、事業を進めている。				
	見直しの余地	○水質汚濁物質排出量総合調査については、平成22年度に政府共通システムを利用する形でオンラインシステムを構築し、調査実施経費の削減に努める。 ○水質汚濁物質排出量総合調査、水質汚濁防止法等の施行状況調査、公共用水域水質測定を実施し、結果を取りまとめ公表していくことは、我が国の水環境の現状の把握、水環境保全に関する国民の意識の向上に資するとともに、今後の水環境保全を検討する上での重要なデータであり、今後も継続して調査していくことが必要。 ○未規制物質の排水基準への追加については、環境基準等の状況を踏まえ適宜追加・見直しをしていく必要がある、今後とも水環境の保全のため調査・検討を進めていくことが必要。 ○ほう素等の暫定排水基準値については、平成22年7月の見直しにより新たに6業種が一律排水基準へ移行するものの、引き続き15業種について暫定排水基準が設定され、これらの業種を一律排水基準へ移行させるため排水処理技術の開発の促進が必要。民間の技術開発の促進を図るため、公募により実証試験を実施するなど、引き続き効果的な事業の実施に努める。 ○今後も引き続き、競争性の高い調達に努め、予算の効率的、効果的な執行に努めていく。				
化予 算 シ ス テ ム 監 視 の ・ 所 効 見 率						
補 記						

環境省  
59百万円  
事業の企画・立案

【総合評価入札】  
A (株)東レエンジニアリング  
16百万円  
水質汚濁物質排出量総合調査及び水質汚濁防止法等の施行状況調査を実施

【一般競争入札】  
B (株)東レエンジニアリング  
14百万円  
公共用水域の水質測定結果の収集・解析、データベース更新

【総合評価入札】  
C (株)日水コン  
9百万円  
ほう素、ふっ素及び硝酸性窒素等の暫定排水基準に係る技術的検討

【公募】  
D JFEテクノロジー(株)  
10百万円  
温泉排水処理技術の実証試験(対象物質:ほう素、ふっ素)

【公募】  
E (株)アクアパレス  
5百万円  
温泉排水処理技術の実証試験(対象物質:ほう素)

【一般競争入札】  
F (株)環境総合テクノス  
4百万円  
未規制物質(対象物質:1,4-ジオキサン)、未規制事業場に係るデータ収集

【一般競争入札】  
G (財)上越環境科学センター  
1百万円  
未規制物質(1,4-ジオキサン)の排出実態調査(ヒアリング・採水・分析)

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. (株)東レエンジニアリング			E. (株)アクアパレス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	水質汚濁物質排出量総合調査及び水質汚濁防止法等施行状況調査	16	雑役務費	温泉排水処理技術開発普及等調査(対象物質:ほう素)	5
計		16	計		5
B. (株)東レエンジニアリング			F. (株)環境総合テクノス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	水質環境情報関連業務	14	雑役務費	排水規制検討調査	4
計		14	計		4
C. (株)日水コン			G. (財)上越環境科学センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ほう素・ふっ素・硝酸性窒素等に係る排水基準検討調査	9	雑役務費	水質汚濁未規制物質排出状況調査	1
計		9	計		1
D. JFEテクノリサーチ(株)					
費目	使途	金額 (百万円)			
雑役務費	温泉排水処理技術開発普及等調査(対象物質:ほう素、ふっ素)	10			
計		10			